

Trofeo TAZIO NUVOLARI

2025 Trofeo Tazio Nuvolari Hokkaido-Stage を振り返って……

今年、2025 年の Trofeo Tazio Nuvolari は 25 周年 25 回目の開催に全国から 25 台の参加者を迎えました。関西、関東、東北等、多くの皆様に遠く北海道にお集り頂き、北海道では異常なほどの高温となりましたが、全車事故も無く無事に終了いたしました。

今年のルートは当該イベントの初期に走った思い出のニセコを中心としたルートを設定しました。

参加者の皆様には北海道らしく無い異常な暑さの中、ドライブする事になりましたが、全走行を終わってみれば、楽しかったとか、信号も少なく、すれ違う車も少なく、北海道らしいルートとドライビングが楽しめる事が出来たかと思います。

今回の参加者は常連参加車両は勿論ですが、初めてのご参加の方々も多く、又北海道では見受けられない道内初上陸した貴重なクラシックカーも多く見受けられました。

例えば“FIAT-Sighinolfi/1949”、“Packard/1925”、“Astonmartin-DB2/1955”等、楽しい見応えのある車たちでした。

天候は異常な猛暑酷暑で車も人も色々な出来事が起こりましたが、25 周年にもかかわらず事故も無く参加者の皆様には感謝の思いでした。

1 日目は、千歳市内の「トランスウエブ北海道営業所」をお借りして計測を行ってからスタートして北広島の球場を周遊し同市内のホテルにてランチ、その後、札幌ドーム横を通過して小樽の毛無峠経由にて赤井川のキロロ・リゾートにて計 17 本の PC をしてから、宿泊施設のヒルトン・ニセコビレッジにゴール。

2 日目はニセコのヒルトン・ニセコビレッジをスタートして蘭越、寿都を経由して海岸沿いを走行し、岩内の PC 及びランチ会場に到着。このイベント会場にてランチを挟んで 2 回の PC10 本を行い、新しい道を抜けてパノラマ・ラインを通過して再びヒルトン・ニセコビレッジに到着しました。

3 日目はニセコからニセコの農道を抜けて、洞爺湖畔のランチ会場に向かい、ランチ後予定では千歳のゴール会場にて表彰式を執り行うことになっていましたが、雲行きが怪しくなり急遽ランチ会場にて表彰式を行うことになりました。

優勝はベントレーの二宮チーム、2 位はアルファロメオの佐藤チーム、3 位はランチャの栗原チームが受賞されました。

因みに 1 位と 2 位の差は「0.04」の微差でした。又 3 位は昨年の優勝者栗原チームでした。

表彰式後解散しましたが、ほとんどの方々はスタート会場の千歳に向かい、帰宅の準備をすることになりました途端に雨が降り出し、ゴール後の雨で助かりました。

皆様、大変お疲れ様でした。

ありがとうございました。

又、来年もお会い出来る事を楽しみにしております。

Trofeo Tazio Nuvolari
Scuderia Tazio Nuvolari Asia